

### 意識啓発

#### 災害への備えはできていますか？

**災害は“他人事”ではありません！**

- 地震調査研究推進本部は、今後30年の間に南関東におけるマグニチュード7クラスの直下型地震が発生する確率を70%と推定しています。小平市の大部分では、最大で震度6強の揺れが想定されています。
- また、自然災害は地震だけではなく、毎年のように大型台風が発生し、近年は各地で豪雨災害に見舞われています。
- このように私たちは災害の脅威と背中合わせであることを自覚し、常日頃から災害に備えることが重要です。

**突然襲い掛かる自然災害**

- 阪神・淡路大震災では、地震による直接死のうち、約8割が倒壊家屋による窒息死・圧死でした。
- 糸魚川市大規模火災は、木造住宅が密集している街区において、強風により飛び火が連発し、延焼範囲が拡大したと推定されています。
- 10月に発生した台風19号は、各地で停電や計画運休など、ライフラインにも大きな影響を及ぼしました。
- このように、ある日突然発生する自然災害に備え、常日頃から防災・減災に取り組みましょう。

**① 災害時に助け合いのできる地域づくりを進めましょう！**

- 災害時には、地域の結び付きが大きな力を発揮します。災害時に助け合いのできる地域を目指し、近所づきあいで話し合い、地域の自主防災組織をつくりましょう！また、お住まいの地域に自主防災組織がある場合は、ぜひ参加しましょう。

**② 住まいの耐震化を進めましょう！**

- 地震による住宅やブロック塀等の倒壊から自分や家族の命を守るため、耐震化を行い、人的被害を防ぎましょう。
- 小平市では、旧耐震基準の木造住宅の耐震化、ブロック塀等の改善を支援しています。

小平市では、自主防災組織や耐震診断・耐震改修などに際して、費用等の一部を補助している。詳しくはチラシを見てね！

**小平市にも木造住宅密集地域があるのをご存知ですか？**

- 「木造住宅密集地域」という言葉を聞いたことがありますか？古い木造建築物が多く、道路も狭く、公園も少ないため、地震や火事が起きた際に、大規模な火災が発生する恐れがあるエリアの事だ。
- 東京都の「防災都市づくり推進計画」によると、小平市には7つの木造住宅密集地域があり、その1つは、中道通り北側の「小川西町3丁目」が抽出されています。

**小川西町3丁目では、すでに意見交換ははじめています！**

- 小川西町3丁目は木造住宅密集地域の抽出を受け、2018年度から地域懇談会をスタートし、住民のみならずと意見交換を行いながら、良好なまちづくりに向けて検討を進めています。

次の地域懇談会は12/15（日）10時から小川西町中道地域センターで開催予定です。少しでも関心がある方は是非、参加をお待ちしています！！みなさんで小川西町3丁目の安全・安心なまちづくりを考えましょう！！

### 防災クイズ

チャレンジしよう！

- Q1 消火器が使えるのは、だいたい何年くらい？**
  - 1 3年
  - 2 4年
  - 3 5年
- Q2 消火器がないとき、電化製品のコンセントから炎が出たときの正しい行動はどれ？**
  - 1 コンセントを抜く
  - 2 床をかける
  - 3 扇風機やうちわで風を送る
- Q3 煙の中を避難するとき、正しい行動はどれ？**
  - 1 姿勢を高くして避難する
  - 2 姿勢を低くして避難する
  - 3 とりあえず走って避難
- Q4 テレビで「緊急地震速報」が流れた！まずはどうする？**
  - 1 非常持出袋を採す
  - 2 揺れを感じる前に、机の下に隠れる
  - 3 揺れるまで、そのまま待つ
- Q5 地震のとき、火事を防ぐために正しい行動はどれ？**
  - 1 すぐに火の元を確認する。
  - 2 揺れが収まってから火の元を確認する
  - 3 燃えてしまったら、自分で頑張って消す
- Q6 豪雨になったとき、してはいけない行動はどれ？**
  - 1 壁から外を眺める
  - 2 テレビやラジオをつける
  - 3 お風呂に入る
- Q7 巨大地震に備えて、最低約何日分の非常食を用意するのが良い？**
  - 1 3日
  - 2 1週間
  - 3 1か月
- Q8 簡易めしめられたとき、助けを仰ぐ方法として適切なのはどれ？**
  - 1 物を燃やして、煙に気づいてもらう
  - 2 大声で呼び続ける
  - 3 物を叩いて音を出す
- Q9 体の血液のどれくらいを失うと、命が危険な状態になる？**
  - 1 約1/3
  - 2 約1/4
  - 3 約1/5
- Q10 出頭している人の応急処置をする場合、次のどれが役立つ？**
  - 1 ビニール袋
  - 2 箸
  - 3 帽子

何問できたかな？

## 取組の経過

### 小川西町3丁目周辺地区のまちづくりの検討（これまでの到達点）

**【2018年度】**

- まちづくりアンケートの実施
- 第1回地域懇談会（H30.12.11）
- 第2回地域懇談会（H31.1.26）
- 第3回地域懇談会（H31.3.16）

地域の課題認識等についてみなさんにお聞きしました。まちの課題の共有、今後のまちの方向性等について話し合いました。他都市の事例を学習し、取組のアイデア等について話し合いました。まちあるきを行い、気づきを共有しました。また、専門家（井上先生）による勉強会も開催しました。

**【2019年度】**

- 第4回地域懇談会（R1.10.27）
- 第5回地域懇談会（R1.11.24）

気象防災アドバイザー（三浦さん）による講演会を開催し、昨今の気象防災について学習しました。本日です！小川西町3丁目のまちづくりに関するパネル展示や防災意識を啓発するゲームを実施中！

**強み**

- 自然環境やまちなかの緑が豊か
- 子育てがしやすい環境

**弱み**

- 災害時において、避難が難しく、火災が広がるおそれがある
- まちのにぎわいが低下している
- 世代間の交流や近所づきあいが希薄なおそれがある

まずは地域の強み・弱みを確認し、アンケート結果などを踏まえて仮説を立てて話し合いを始めたよ。

魅力的で住みたくなる住宅地

安全・安心に暮らせるまち

高齢者にやさしく、子育てしやすいまち

活気のある商店街

コミュニティが豊か交流のあるまち

「仮説」をたたき意見交換

**「防災」に関すること**

- 組織づくりやルールづくり  
勉強会等の開催/まちあるきで危険箇所の確認/安全なまちづくりのルール検討 など
- 普段からできることを考える  
単身高齢者の把握など要支援者の対策/消火栓等の確認/防災訓練の実施 など

**「コミュニティ」に関すること**

- 集まれる居場所づくり  
空き店舗・空き家、地域資源の活用による世代を超えた人の居場所づくり
- コミュニティに繋がる楽しく参加できるイベントの工夫 等
- 単身高齢者の見守り、外出機会づくり 等

**「にぎわいづくり」に関すること**

- 若い人たちが訪れる商店街づくり  
若者や子ども連れが利用しやすくなる工夫（市内の商家とタイアップの検討など）
- 自然（野火止用水等）を活かす
- 地域の施設との連携

参加者の関心が高く、緊急性が高い「防災」を軸に検討することに

**取組の考え方**

コミュニティづくり → 防災に関する取組 → にぎわいづくり

「防災に関する取組」を核に他の地域課題の解決にも展開していきます

**地域の目標（案）**

“安全・安心の暮らしやすいまち”をめざします

ここに示した目標や取組については、今後の話し合いを通じて実現する可能性があるよ。興味のある人は是非、懇談会に参加してね！

**取組の視点とアイデア（例）**

視点1	燃えにくく、倒れにくい建物にすること	・建替時のルールの検討 など
視点2	安全に避難や消火・救助活動ができる環境	・避難ルートを共有する ・ブロック塀の点検 など
視点3	安心できる避難先の確認	・避難先の設備、備蓄の確認 など
視点4	災害時に助け合える関係づくり	・緊急時の行動等に関する計画づくり ・様々な主体を巻き込んだ防災活動 など